

目次

- (一面)
 - ・第74回人権週間特集
 - 街頭啓発活動・武庫地区人権問題講演会 事務局
 - ・各種団体別合同研修会(第2回)/武庫地区人権問題講演会が開催されました。事務局
 - ・視点 校長室前にはクイズを貼っています。
 - 尼崎市立武庫小学校 校長 河合 康一
- (二面)
 - ・武庫広報誌 むこたん 最新号発刊!
 - 『むこたん』VOL.7 責任編集長 土居 由紀子
 - ・地域福祉協議会を存続しますか?
 - 社会福祉協議会武庫支部 事務局長 伊藤 貴教
 - ・兵庫県立阪神特別支援学校分教室の紹介と喫茶サービスの取り組み
 - 阪神特別支援学校分教室

武庫しののめ

武庫地区人権啓発推進委員会
 尼崎市南武庫之荘 11丁目6番15号
 尼崎市立地域総合センター南武庫之荘
 電話・FAX 6438-5875

令和4年12月4日～10日

「人権文化の息づくまち」を目指し 第74回人権週間に伴う様々な活動を行いました。

12月4日から10日までの人権週間には、毎年、全国各地で啓発活動が展開されています。一昨年、昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念されましたが、「人権文化の息づくまち」を目指して、啓発活動を次のとおり実施しました。

- ◆街頭啓発活動(人権啓発チラシ・グッズの配布、パネルの展示)
 - ・日程 12月1日(木)
 - ・場所 阪急武庫之荘駅周辺 (参加者49人)



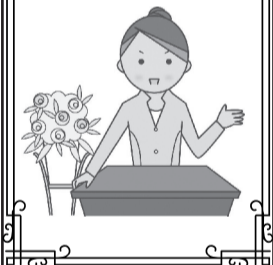
袋詰め作業を行いました。作業終了後、DVD『きこえない人の生活・気持ち』を鑑賞し、聴覚に障がいを持つ方々の日々の困りごとや必要な配慮について学びました。(参加者40人)

- ◆人権啓発パネルの展示、のぼり・横断幕の掲示
 - ・パネル展示
 - ・日程 11月29日(火)～12月10日(土)
 - ・場所 武庫西生涯学習プラザ、武庫東生涯学習プラザ、女性センタートレビエ
 - ・のぼり・横断幕の掲示
 - ・日程 11月29日(火)～12月10日(土)
 - ・場所 武庫小学校 阪急武庫之荘駅周辺、西武庫公園、武庫西生涯学習プラザ、武庫東生涯学習プラザ



- ◆武庫地区人権問題講演会
 - ・日程 12月8日(木)
 - ・場所 武庫西生涯学習プラザ3階ホール
 - ・講師 大岡 由佳 さん(武庫川女子大学 准教授)
 - ・演題 犯罪被害者の人権 犯罪被害者問題は、明日は我が身です。
 - ・出席者の方々は熱心に聴講され、大変貴重な機会となりました。(講演会についての詳細は左面を参照)
 - (参加者53人 (事務局))

武庫地区人権啓発推進委員会 各種団体別合同研修会(第2回) 武庫地区人権問題講演会が開催されました。



- ◆武庫地区人権啓発推進委員会
各種団体別合同研修会(第2回)
令和4年11月25日(金) 武庫西生涯学習プラザ1階ホール

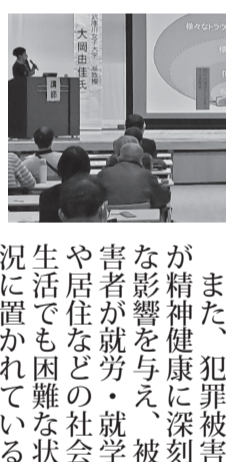
講師に一般社団法人am*a*m(あむあむ)代表理事の八尾由江さんをお招きし、「『ふつう』って何だろう?」日々のできごとから学ぶこと」という演題で講演していただきました。



一般社団法人am*a*mは障がいや病気があつた人たちの就労移行支援事業所「志進館」や、就労継続支援(B型)事業所「B-UP(ビーアップ)」を運営しています。子ども達が持つ様々な特性

- ◆武庫地区人権推進委員会
武庫地区人権問題講演会
令和4年12月8日(木) 武庫西生涯学習プラザ3階ホール

講師に武庫川女子大学准教授・大岡由佳さんをお招きし、「犯罪被害者の人権 犯罪被害者問題は、明日は我が身です。」という演題で講演していただきました。



講義では、被害者が受ける二次被害(無理解や偏見など)から受ける心身の傷)について、被害者遺族の証言動画も交えながらお話ししました。

また、犯罪被害者が精神健康に深刻な影響を与え、被害者が就労・就学や居住などの社会生活でも困難な状況に置かれている

こと、制度が知られていないことなどもあり支援が不十分だったこと、そうした被害者の不満の声から犯罪被害者等基本法成立や基本計画策定に至ったことなどの説明がありました。

そして、被害者支援の施策や枠組みの現状、被害者への適切な接し方などについてもお話いただきました。

さらに、被害者支援で必要なのは、被害者のことを知り、ともに考えることとであり、身近に被害者が出た場合のために、被害者支援・相談機関について、それだけでも知っておくべきだと強調されました。

※犯罪被害者のための支援・相談機関として、兵庫県内には以下のようなものがあります。

- ・公益社団法人ひょうご被害者支援センター
 - 電話 078-1367-7833
 - ・ひょうご被害者ケアセンター「よりそい」
 - 電話 078-1367-7874
 - ※ホームページは、<https://www.supportyogo.org/>
- ・特定非営利活動法人 性暴力被害者支援センター「ひょうご」
 - 電話 06-6480-1155
 - <https://ikobe.jindofree.com/> (事務局)

視点



校長室前にはクイズを貼っています。

いつも校長室前にはクイズを貼っています。答えた人が自由に答える形式です。12月4日からの人権週間の時は、こんなクイズを出しました。

次のようなルールがあつたとして、変だと思ふものはありますか?

- ① キャンプでは、男子が火をたき、女子が野菜を切る。
- ② 女子は女子トイレを使い、男子は男子トイレを使う。
- ③ ある店は、肌の色の白い人は入れるが、肌の色の黒い人は入れない。
- ④ 野球チームでは、6年生は試合に出られるが、4年生は出られない。

答えてくれた人の結果を集計すると、最も意見が割れたのが①でした。「変だ」が4割、「変じゃない」が2割、残り4割が「どちらとも言えない」でした。

ジェンダーフリーが叫ばれて久しいですが、例えば、学級で児童を並べせたり何か作業をさせたりする時に、何気なく性別で分けてしまうことがあります。本当に分ける必要があるのかどうか、今一度見直す必要があるのでしょうか。

今年度本校では、身体測定でも性別で分ける必要のない項目については男女混合で行っています。宿泊行事前の性教育の話も、女子だけ集めるようなことはせず、男子にも生理用品を配って説明をします。ご家庭では、何か見直すことはありませんか?

尼崎市立武庫小学校
校長 河合 康一

武庫広報誌

むこたん 最新号発刊!

つ、つ、ついに!
『むこたん』VOL.7完成!
約一年半振りの発刊です!
バンザイ!



1・17に向けて、防災をもっと身近に、もっと日常に、もっと自分ごとと考えてもらえたらと思つて、防災×むこたんにチャレンジしました。
未来の子どもたちのためにも、今任んでいる全員にも関わらず、

備。
武庫で生きる
が、テーマです。

今回はレイアウトのできるプロデザイナーママや写真が趣味のママがメンバーに加わってくれ、たくさんの方のご協力をいただき、武庫地区の子どもたちへの思いが込められた温かい紙面になりました。

大切な人、大切な自分を守るために知っておきたい防災と防犯。特集は、ある編集委員の一家の防災レベルを専門家にチェックしてもらおう体当たり企画に始まり、子どもたちと一緒に被災時にできる蒸しパン作り体験など、重くならずすぎないようにしながらも、きちんと使える内容にしています。

防犯のページでは、簡単な護身術を警察の方に教えてもらった、一部で人気のコーナー『葉草ハンターがゆく』でも、いざというときに食べられる雑草を取り上げたりと全て「備え」につながっています。
読んだら誰かに教えたいくなる、お手元に置いてもらいたくなる一冊になったはず!
ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました!
武庫地区の小中学校、郵便局はじめお店などへ配布しています。
うちにも置いて良いよ!という優しいお店や施設の方は、武庫地域課(06-6431-7884)までご連絡お願いします。

『むこたん』VOL.7責任編集長 土居 由紀子
『むこたん』VOL.7も、これまでのおむこたん同様、大切に読んでいただきたく、本当にありがとうございます!
武庫地区の小中学校、郵便局はじめお店などへ配布しています。
うちにも置いて良いよ!という優しいお店や施設の方は、武庫地域課(06-6431-7884)までご連絡をお願いします。



なつてもらえたら嬉しいです。広告協賛企業コープ武庫之荘さまでは、特設の防災コーナーに置いていただいています! ありがとうございます!

地域福祉会議をご存じですか?

みなさまは地域福祉会議をご存じでしょうか。

地域福祉会議は「子育て」や「高齢者の見守り」などの地域における様々なテーマが継続的に話し合われる地域で行われる会議です。

例えば、最近、認知症のお年寄りやひとりである子どもが増えているから、話し合いができるみんなの居場所をつくらう!というように地域の課題を地域の方々で自由に話し合う場です。
支援を必要とする人を早期に見出し、必要なサービスにつなぐなど適切な支援が行われるためには、まずは日頃の地域の人同士の

つながり、支えあいづくりが大切です。このつながりを作るための一環として地域福祉会議はとても大切な役割を果たしています。

この地域福祉会議ですが、武庫地区では、各連協において行われています。連協・単組の方、民生児童委員の方、老人クラブの方、少年補導委員の方、保護司の方、育友会の方、金融機関の方、地域のお店の方など様々な方が参加されており、様々な視点から地域の課題について話し合いが行われています。

我々社会福祉協議会(社協)の職員は地域の方が住み慣れたまちで安心して生活することのできる



「福祉のまちづくり」の実現をめざし、仕事をしています。
上記のような地域福祉会議において、地域のゴミ屋敷等の話が出ればなぜそのようになつてしまったのか、どうすれば解決できるのか等、その方の支援や解決策を行政等関係機関と連携しつつ考えていきます。視点を交えてみると「困つた人は、困つて

いる人」です。このような方の情報の共有を図ることができるのが地域福祉会議です。
まもなく国民の4人に1人が、75歳以上となる2025年をむかえ、これからは一層高齢化が進み、認知症の方が多くなることが予想されます。
またコロナ禍で人と話す機会が減少し、子育ての悩みなど一人で悩みを抱え込んでいる方も増えるなど、これまで以上に表に見えていない地域の課題がますます増えてくるのが予想され、地域福祉会議の重要性が一層増してきます。

武庫地区がより住みよいまちになるように、地域福祉会議の立ち上げや運営についてこれからも地域の皆様と一緒に考えていきたいと思います。
社会福祉協議会武庫支部 事務局長 伊藤 貴教

武庫地区で頑張る団体紹介

兵庫県立阪神特別支援学校分教室の紹介と喫茶サービスの取り組み

阪神特別支援学校分教室は、平成27年4月、高等学校との交流及び共同学習をすすめる、社会自立・職業自立をめざす生徒の育成を目的とし、武庫之荘にある兵庫県立武庫荘総合高等学校内に設置され、今年で8年目を迎えています。

現在、44名の生徒が高校生や地域の人々と交流しながら、持てる力を最大限伸ばせるよう日々学んでいます。
また、5年前から「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」を活用して、市営時友団地の集会所で、出張喫茶店「TARO COFFEE」を開店しました。

め、株式会社ヒロコーヒー様より接客の心得や技能などを教えていただくとともに、店内で使用されるコーヒー豆もヒロコーヒー様の季節のブレンド豆をご提供いただいております。

コンセプトは、兵庫県立阪神特別支援学校分教室の生徒が心をこめてもてなす、ほっこりやさしくなれる喫茶店。気軽に本格的なコーヒーを楽しんでいただける、地域の憩いの場としてお役に立てるよう、分教室一同今後とも励んでいきます。

阪神特別支援学校分教室



た。2018年10月に開店して以来、6月2月の火・金13時30分~14時30分に営業しております。この間、多くの団地の方や市民の方々にご愛顧いただき、先日4周年を迎えました。
さらに、生徒たちは、サービスを向上するた

